

ようこそ 家庭医療へ!

～ いわきに生きる家庭医育成への挑戦 ～

第86回 家庭医療の原理

診療部 石井 敦



1968年に単身英国からカナダに移り、カナダで家庭医療を一から創り上げた「家庭医療の父」と称されるイアン・マクウィニーという大偉人がいます。彼は2012年に亡くなりましたが、彼が1981年に示した家庭医療の原理は、没後も後進たちに多大なる影響を与え続けているので皆さんにも紹介します。

- ① ある領域の知識、疾患、手技に献身するのではなく、患者に献身する
- ② 家族や社会などを包含する病いのコンテキストを理解しようとする
- ③ 毎回の受診を、予防や患者教育の機会として利用しようとする
- ④ 診療を通じて、リスクの高い住民のことも考える
- ⑤ 自らを人々の支援や診療にかかわる地域ネットワークの一部と位置づける
- ⑥ 患者らと同じ地域に住む
- ⑦ 患者を診療所だけでなく、在宅や病院でも診る
- ⑧ 医療において主観的な側面や自らを振り返ることを重視する
- ⑨ さまざまな有限な資源のマネジメントについて自覚する

9つの原理一つひとつが、私たちの使命や進むべき道を明確に示してくれます。

①では家庭医の専門性の本幹を分かりやすく示しています。医師である以上、患者に献身するのは当たり前と言え当たり前ですが、家庭医以外の専門医は、ある領域の知識、疾患、手技に特化して学び、その技術を磨くことにより、結果として患者に献身するというプロセスを踏むのに対し、家庭医の場合、起点が「患者に

献身する」なのです。そのために必要かつ有用であれば、あらゆる領域の知識、疾患、手技を学び、それがむしろ非効率であったり有害であると判断すれば、その部分に関しては、しかるべき他科専門医に委ねます。結果として仕事の内容が重複する場合がありますが、アプローチの方向は真逆なのです。

②の中に「コンテキスト」という難しい用語が使われています。ピタリと当てはまる日本語の単語はないのですが、強いて日本語で表現するならば「一人ひとり異なる固有の物語の文脈」といったところでしょうか。ますます意味が分からなくなりましたかね?(笑)例えば、同じ疾患であっても、患者さんごとに置かれている状況や、家族背景、社会的な役割、疾患の受け止め方などは千差万別です。医師は科学者として疾患を扱うだけでなく、一人ひとり異なる患者さん固有の物語に寄り添うことの重要性を教えてくださいの私が最も好きな言葉のひとつです。

③以下では、患者に献身することにとどまらず、地域全体に存在する患者予備軍へのアプローチを、家庭医を含む地域住民みんなで行なうことで、疾病予防も実現し、更に常に改善・成長を繰り返していくという、実に実に深〜い内容となっています。

今の私には、これらを完璧に実践できる能力はまだまだ備わっていませんが、日々の診療を振り返り、自身の成長と若手の教育の糧にしていく気概だけは持っているものと自負しています。

かしま病院では、2008年度から家庭医を志す研修医や地域医療実習を行う医学生を受け入れています。このコラムを担当する医師の石井敦は日本プライマリ・ケア連合学会認定指導医として、研修医・医学生の指導を行っています。



第73回

リハビリ～作業療法～

医療・介護の現場で実施されるリハビリテーションには大きく分けて理学療法、作業療法、言語聴覚療法の3つがあります。今回はその一つの作業療法について説明をします。作業療法は、「生活に必要な作業ができる事」を目的としています。「作業」とは、

食事・入浴・排泄をしたり、文字を書いたり等生活に関わる全ての諸活動をいいます。作業療法士は、暮らし・仕事・趣味等の作業を通して、患者様の心と体を元気にするリハビリテーションを行います。

当院での作業療法をご紹介します。作業療法の介入を行う前に患者様に目標をお尋ねします。身の回りの事ができるようになりたい方、パソコンができるようになりたい方、車の運転ができるようになりたいという方等、各々で目標が異なります。そこで

私達作業療法士は、患者様と相談しながら目標を定め、個々に合わせた訓練を立案し実施していきます。



写真は、実際に作業療法の訓練を行っている様子です。この方は、脳卒中により右半身の麻痺があります。そして「手をうまく動かせるようになりたい」と希望がありました。そこで、手の訓練として、ティッシュボックスカバーを作る事としました。患者様の感想として、「手も動くようになって退院後も趣味として楽しみたい」と笑顔で話されていました。このように、病院で導入した作業が退院後も継続して行われ、自分で出来るリハビリの一つとして、また生活の一部として本人にとって意味のある作業となる事が望ましいと考えております。これからも作業を通して皆様様が心も体も元気でいられるよう支援していきたいと思っています。

作業療法士 村山 綾子

かしま荘通信

誕生会

3/7(火)



3月は8名の利用者様が誕生日を迎えられ、お祝いの言葉と花束が贈られました。今回は、なつメロ会様に「岸壁の母」「乱れ髪」「ここに幸あり」などの曲をお聴かせ頂きました。会場の皆様も馴染み深い歌と一緒に歌ったり手拍子をするなど楽しいひとときを過ごしました。

イベント開催予定のお知らせ

糖尿病教室

日時 毎月第1火曜日 10:00～10:30

会場 クリニックかしま会議室

・ 5月2日『みんなで話そう糖尿病自慢』
体験談を参考してみませんか?

・ 6月6日『お薬のはなし』
・ 7月4日『食事と栄養』
・ 8月1日『検査について』

家庭医療セミナー～実践家庭医塾～

時間 19:00～20:00

会場 かしま病院コミュニティーホール

・ 4月20日(木)
・ 5月25日(木)

乳がん患者のついで アイリスの会

日時 毎月第3水曜日 14:00～15:30

会場 かしま病院コミュニティーホール

・ 4月19日(水)
・ 5月17日(水)

ゆる体操教室

時間 1回目 13:30～14:30

2回目 15:00～16:00

会場 クリニックかしま会議室

・ 4月15日(土)
・ 5月13日(土)

興味のある方は、お問い合わせください。